

兵庫県版

日本の息吹

版 第二一〇号 平成三二年（皇紀二六七九年）
 五月二五日発行 日本会議兵庫県本部事務局
 六五〇・〇〇一五 神戸市中央区多聞通三・一・一
 兵庫県神社庁内（〇七八・三四一・一一四五）
 HP <https://www.nipponkaigihyogo.org/>
 メール nipponkaigihyogo@gmail.com



《憲法改正街頭活動》

令和元年五月三日（金）一〇時三〇分、神戸大丸前にて、街頭活動、審査会促進請願署名、情報宣伝活動が実施された。



改憲賛成は、パンフレットを

受け取られる方の数からすると、テレビや新聞によるアンケートとは異なりかなり賛成派は多いように思える。

《公開憲法フォーラム》

フォーラムに先立ち『自衛隊明記を考える』国民の生活を守る自衛隊、憲法明記で平和を守ろう』と題して映画上映が行われた。

【第一部】

令和元年五月三日（金）一三時三〇分より、兵庫県中央労働センター大ホールにて実施された。会は開会宣言、国歌斉唱に続き、垣田宗彦憲法を作る会兵庫神戸代表（湊川神社宮司）よりの主催者代表挨拶があった。

また、盛山正仁衆議院議員、加田裕之自民党兵庫県参議院支部長、守屋隆司神戸市議会議員からは、改憲に向けての御提言

を戴いた。



《 4月25日以降の日本会議兵庫関連団体の主な催物 》

- 7月7日(日) 13時半 女性の会教育講演会(生田神社/荒谷卓氏「サムライ精神を復活せよ！～君民一体の國 日本～」)
- 7月15日(月・祝)午後 日本会議兵庫県本部総会記念講演会(ホテルニューアワジプラザ淡路島/山田蓉氏(元掌典次長))

全国一斉で実施されたこともあり、ネット配信にて櫻井よしこ氏のビデオメッセージ、安倍晋三内閣総理大臣からの「改憲への思い」が紹介された。

最後は声明文を読み上げ閉会となった。

【第二部】

石平氏（評論家）から『今日の国際情勢と憲法改正』と題してご講演戴いた。参加者は一六九名、大盛況でした。



【第三部】

石平氏を囲んでの懇親会が実施されました。



《神戸支部セミナーと

語らいの夕べ 第一回》

平成三一年四月一九日（金）一九時一五分、神戸市立婦人会館「つばき」にて、第一回目は『楠公景仰と現代』と題して垣田宗彦氏（湊川神社宮司、日本会議兵庫神戸支部長）にご講演戴いた。

先ずは、鎌倉時代前期（楠木氏の黎明）、鎌倉時代末期（正成公の台頭）、戦国時代（末裔の奮戦）、江戸時代（楠公精神



と人気）、明治維新（楠公景仰の歴史）について、年表を参照しながら御説明戴いた。また、「学問の勃興と楠公精神」について、幕末の志士や新政府官僚へどのような受け継がれたこと、特に、シーボルトや吉田松陰ら松下村塾門下生が楠公の墓所を参詣していたこと、神戸開港と湊川神社創建の関係、水戸学・崎門学の核は楠公精神であることなど。

一番印象に残ったことは、マスコミは勉強していない、楠木正成公の時代と現在では「悪

と人意）の意味が異なる”ことを理解しないで使っているのご指摘だった。

定員三〇名限定でしたが、定員を上回る盛況ぶりでした。

《推薦書籍のご紹介》

◎『太平洋戦争の大嘘』

藤井厳喜著（DIRECT）

◎『フーバー大統領が明かす

日米戦争の真実

米国民をも騙した謀略』

加瀬英明 編

藤井・稲村・茂木共著

中韓による歴史戦・賠償請求へと広がりを見せた大東亜戦争。第三一代アメリカ大統領ハーバート・フーバーの分析では、太平洋戦争は共産主義者のF・ルーズベルトが、不況処理（国内需要を増やす）為に中国の市場を日本から奪う目的のものだった。

（栗原 記）